

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期） 平成29年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第4期）の概要

- (1) 計画期間
平成29年度から平成33年度（5年間）
- (2) 温室効果ガス総排出量削減目標
平成33年度までに基準年度（平成27年度）から10.0%削減
- (3) 重点取組
 - ア 効率的な施設の運営
 - イ 省エネルギーな設備の導入
 - ウ 庁舎・市民交流施設の省エネルギー化
 - エ ごみの減量化、資源化の向上

2 エネルギー使用状況、温室効果ガス排出状況

エネルギー使用状況

項目	単位	平成27年度	平成29年度	
		基準年度	実績	平成27年度比
ガソリン	Kl	34.0	32.0	△ 6.0%
灯油	Kl	106.6	114.5	7.4%
軽油	Kl	11.3	10.4	△ 8.1%
A重油	Kl	18.2	18.0	△ 0.8%
LPG	T	6.0	6.7	11.6%
都市ガス	千m ³	838.7	985.5	17.5%
電気使用量	千kWh	17,060.6	16,802.5	△ 1.5%
公用車走行量	千km	471.9	462.2	△ 2.1%
カーエアコン	台	80.0	76.0	△ 5.0%
笑気ガス	kg	34.0	4.0	△ 88.2%

温室効果ガス排出状況（単位：t-CO₂）

項目	平成27年度	平成29年度	
	基準年度	実績	平成27年度比
ガソリン	78.9	74.2	△ 6.0%
灯油	265.4	285.1	7.4%
軽油	29.1	26.7	△ 8.1%
A重油	49.2	48.8	△ 0.8%
LPG	17.9	20.0	11.6%
都市ガス	1,870.3	2,197.6	17.5%
電気使用量	8,831.1	8,650.4	△ 2.0%
公用車走行量	3.54	3.43	△ 3.2%
カーエアコン	1.14	1.09	△ 5.0%
笑気ガス	10.1	1.2	△ 88.2%
合計	11,156.7	11,308.5	1.4%

※取組効果を正当に評価するため、基準年度の排出係数を固定してCO2排出量の算定を行っています。

※最新の排出係数による温室効果ガス排出量：10,889.4t-CO2（基準年度比2.4%減）

※数値は四捨五入しているため、合わない場合があります。

【結果】

- (1) 平成29年度温室効果ガス排出量は、平成27年度と比較し1.4%増加しました。
- (2) 温室効果ガス排出量の増減の主な理由は、次のとおりです。

【温室効果ガス排出量の増減の主な理由】

燃料等	主な理由（増加）	主な理由（減少）
都市ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・みらいへの開館（平成27年10月以降） ・西脇病院のサービス向上を目的とした空調使用の増（平成29年度） 	
電気		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の廃止（平成28年度以降） ・上水道3施設の廃止（平成28年度）

3 主な取組

- (1) 重点取組
 - ア 省エネルギーな設備の導入
 - (ア) 防犯灯、道路照明のLED化（535基）
 - (イ) 省エネPCに更新（65台）
 - イ ごみの減量化、資源化の向上
エコリーダーに講習会を実施
- (2) その他の取組
 - ア 節電対策の徹底
 - (ア) 公共施設における不使用場所の消灯（昼休み時、トイレ等）
 - (イ) 廊下及び窓際照明の間引き・消灯
 - (ウ) 空調使用の抑制
 - a 稼働時間の短縮
 - b 設定温度の徹底（冷房時28度、暖房時19度）
 - (エ) 定時退庁の推進（水曜日）
 - (オ) パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
 - イ 緑のカーテン大作戦の実施（公共施設17施設）
 - ウ 職員全員が環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック
 - エ 各課・施設における活動量（温室効果ガス総排出量）の取りまとめ